



2023.11.5

No. 358

MONTHLY

れんごう

北海道

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)  
1996年3月4日第三種郵便物認可

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 和田英浩

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 連合北海道第36回定期大会を開催 須間新体制がスタート

連合北海道は10月31日、札幌市内で第36回定期大会を開催した。

大会では、向こう2年間の運動方針を確認するとともに、役員改選により新会長に須間 等 (JP労組)、新事務局長に和田英浩 (自治労) が選出され、新体制が確立した。

はじめに執行部を代表して挨拶に立った杉山会長は、まず、世界的に平和が脅かされている現状にふれ、「再び悲惨な戦禍へと進みつつある。連合が唱える『平和なくして労働運動なし』のもと、働く者の立場から平和を希求し続けていこう」と述べた。また、2024春季生活闘争の取り組みについては「積極的な人への投資によって賃金が継続的に上昇し、経済が安定的に上昇するステージへの転換を確実なものとするためにも、すべての組織が連合2024春闘に結集しよう」と強調した。さらに、次期国政選挙についてもふれ、「この2年間の国政選挙で、なんとしても自民党一強政治を転換させるため、連合北海道が一丸となって取り組んでいこう」と訴えた。結びに、「連合の旗の下でしっかり心合わせ・力合わせを行い、すべての働く人・生活者にとって『必ずそばにいる存在』となる連合運動をめざしていこう」と呼びかけた。

大会は、「2024-25年度運動方針」のほか、「2023春季生活闘争のまとめ及び2024春季生活闘争基本構想」が主な議題として進められ、すべて原案どおり承認された。



討論では、全体で7組織から運動を補強する意見が出され、今後の運動に反映させ取り組んでいくことが確認された。

最後に、新執行部を代表して挨拶に立った須間会長は「連合北海道のさらなる運動の前進に向けて、働くすべての仲間に寄り添い、働くものが希望の持てる社会づくりをめざしていく」と決意を述べた。

さまざまな課題が深刻さを増す中、道民の命と暮らしを守り、労働環境を改善するため、連合北海道は新体制のもと組織全体で思いを一つにし、力強く運動を進めていく。

※「2024～2025年度(第18期)連合北海道役員」は次ページに掲載。



杉山前会長



須間新会長



## 2024～2025年度(第18期)連合北海道役員

第36回定期大会

(五十音順)

**■会長** 須間 等 (JP労組/専従)  
**■会長代行** 砂長 勉 (UAゼンセン/非専従)  
**■副会長** 荒川 孝志 (基幹労連/非専従)  
 木下 真一 (北教組/非専従)  
 佐藤 環樹 (自治労/非専従)  
 高久保 陽一 (国公連合/非専従)  
 千葉 浩司 (JP労組/非専従)  
 萩原 光典 (情報労連/非専従)  
 森下 和彦 (運輸労連/非専従)  
 山下 則和 (電力総連/非専従)  
**■事務局長** 和田 英浩 (自治労/専従)  
 政治センター事務局長兼任  
**■副事務局長** 荒木 敏安 (電力総連/専従)  
 総務財政局長兼任  
 金子 ユリ (情報労連/専従)  
 ジェンダー平等局長兼任

**■執行委員** 総合政策局長 小倉 佳南子 (事務局/専従)  
 組織対策局長 永田 重人 (自治労/専従)  
 道民運動局長 皆川 洋仁 (事務局/専従)  
 組織労働局長 山田 新吾 (運輸労連/専従)  
 (女性枠) 中野 由郁 (電力総連/非専従)  
 (女性枠) 服部 さおり (情報労連/非専従)  
 (女性枠) 女性委員会委員長 河原崎 育子 (自治労/非専従)  
 (女性枠) 女性委員会事務局長 田中 紀恵 (北教組/非専従)  
 (青年枠) 青年委員会委員長 長山 翔汰 (自治労/非専従)  
**■会計監査** 大久保 静 (電機連合)  
 倉井 豊 (森林労連)  
 杉浦 一秀 (交通労連)  
 外山 夕太 (紙パ連合)  
 松坂 武敏 (UAゼンセン)

## 「10月1日から最低賃金は960円」 最賃改定と労働相談窓口の開設について街宣

連合北海道は、北海道の最低賃金が960円に改定されたことから、10月2日に紀伊國屋書店前で、最低賃金改定の周知と労働相談を受ける窓口の開設について街頭宣伝を行った。

### ●給料明細の確認を!

「10月1日から最低賃金が変わりました」

連合北海道の永田組織対策局長は、これまで920円だった最低賃金が960円に引き上がったことを紹介しながら、連合北海道が10月5日～6日に行う労働相談について触れ、「賃金はもちろん、働く条件や環境に少しでも違和感があったら相談ダイヤルまで電話を」と市民に呼び掛けた。

北海道地方最低賃金審議会の労働者側委員を務めた山田組織労働局長は、「今回の改定は、時間給で働く50%以上の人の賃金が引き上がる」と、1時間当たり960円近傍の低賃金で働いている人が多い現状を述べるとともに、最低賃金以上の給与支給を企業に求めた。

和田副事務局長は、「月給や日給で働いている方も、給与明細でしっかりと確認を」と、時間給労働者以外も引き上げの対象になることから、支給される給与を労働時間で割り返して金額を確認するよう訴えた。

10月1日から40円が引き上げられた最低賃金。しかしながら、上昇し続ける消費者物価を引き上げ額が上回らなければ、最低賃金法に定められた「賃金の低廉な



る労働者の労働条件の改善」がされたとは言えない。

連合北海道は、最低賃金や春季生活闘争の取り組みを通じて、賃金が継続して上昇する社会の醸成を目指して活動を続ける。

### ●特定4業種の最低賃金引き上げ額決定

特定(産業別)最低賃金(以下、特定最賃)は、特定の産業において一定の条件を満たすことで最低賃金を設定でき、地域別最低賃金よりも高い金額で設定されるため、該当産業の魅力を高め、人材確保の面で優位性が保たれる。

9月上旬から審議が進められた2023年度北海道地方特定最賃は、4業種(産業)において10月3日に結審した。12月1日に発効の予定。

〈この記事のアドレス〉

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/8321>

## アフリカ支援米2023年「収穫祭」を開催

食・みどり・水を守る道民の会(連合北海道・北海道農民連盟)は9月30日、アフリカ支援米2023年「収穫祭」を由仁町の山根農場において開催し、組合員と

ほっかいどう若者応援学生プロジェクトがサポートする「こども食堂」の利用者と支援ボランティア学生の合計59名が参加した。



アフリカ支援米の取り組みは、これまで食料不足に苦しむマリに対し、支援米作付けや茶碗一杯のコメ・カンパ活動などによって進めてきたが、それに加え1995年より、食料の重要性や農業体験を通して農業促進の必要性などを感じ取ってもらおうと「稲刈り」体験を実施している。

開会式では主催者を代表して、道民の会齋藤教一副会長より「今年の北海道は猛暑が続き、過去に例のない大雨が何回もあり、この田んぼの維持、管理は大変だと思う。こんなに立派なお米に育てていただき、あらためて山根農場さんに感謝申し上げます」と述べた。

そして日本の食料問題の課題について触れ、「これまで日本は貿易経済を優先して、食べ物をはじめ、田んぼや畑の肥料、牛や豚のエサ、飼料も輸入を進めたことが、国内の農家、生産者さんたちの働く意欲をなくしてしまい、世界では輸入して食べ物を買う経済的な力が弱い国の人々を苦しめたかもしれない政策を、日本は長い間取ってきた」と述べ、「一方でこの場に青年部、生産者の若い方々がいて、ベテランの生産者さんたちもこんなに元気な姿で、そしてこんなに立派な大地が広がっている。この世界から飢餓がなくなる



ことを思いつつ、稲刈りを楽しんでください」と挨拶した。

参加者は、協力農家の山根さんより作業内容などについて説明を受けた後、自分達が植えた稲の成長に驚きながら、鎌を使い手作業で一株ずつ刈り取った。その後、ジングスカンを囲みながら、懇親を深めた。

この日収穫した支援米は、来年2月に、アフリカのマリ共和国に送る予定となっている。

〈この記事のアドレス〉

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/8367>

## 「2023平和行動 in 根室」を開催

日本固有の領土である北方四島が、ソビエトによって不法占拠されてから78年が経過した。連合は根室内・納沙布岬で「2023平和行動in根室」を9月9日、10日の2日間にわたり開催した。

9日は今年も学習会を3会場に分散し、北方四島学習会を開催した。北方4島交流事業で使用される客船「えとぴりか」内でも開催された専門家による講演では、現在の国際情勢が北方領土問題にもたらす影響や、島の現状や諸課題、日ロ共同経済活動の展望など様々な観点から北方四島について学習した。

10日は強風の中、納沙布岬・望郷の岬公園において「2023平和ノサップ集会」が開催され、全国から863人の仲間が結集した。

主催者挨拶に立った連合清水事務局長は、ウクライナ軍事侵略以降の北方領土に関するロシアの対応について、「これまで日ロ平和条約締結に関わってきた両国関係者の努力を蔑ろにするにとどまらず、両国の関係を1956年の日ソ共同宣言締結にもとづく国交回復以降、最悪の状況に貶めるものだ。日ロ平和条約の締結と北方四島の一括返還を通じて、領土問題を早期に解決し、真の意味での戦後を迎える必要がある」と述べ、「日本政府には、日ロ関係の改善、そして、その先にある北方領土問題の1日も早い解決に向けて、粘り強い外交努力を求めたい」と述べ、最後に「世界の恒久平和の実現に向けて、一緒に平和運動の輪を広げていこう」と集会参加者に呼びかけた。



地元北海道を代表し挨拶に立った連合北海道杉山会長は、「根室に近い矢白別演習場では、昨年10月に続き今年も9月14日から23日の間で、日米共同訓練が予定されており、いたずらに近隣諸国との軍事的緊張を高めるものでしかない。これらは北方領土の返還を願う元島民の想いや『平和行動in根室』の取り組みを続けてきた私たちの想いを踏みにじるものである。平和は武力ではなく、対話による平和外交の積み重ねでしか実現できない。北方領土を1日も早く取り戻すため、この根室で78年前に何があったのかを学び、納沙布岬で感じたことを職場や地域に伝えてほしい」と訴えた。

その後、平和リレーが行われ、北海道から連合平和4行動スタートの地、沖縄へ「ピースフラッグ」が受け渡された。



最後に、地元釧根地協浅野会長による、四島一括返還運動の更なる深化を訴える力強い「団結がんばろう」で「平和行動in根室」を締めた。

連合北海道は、当該の地方連合会として、今後も職

場・地域にいる仲間とともに北方領土返還運動に粘り強く取り組んでいく。

〈この記事のアドレス〉

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/8356>

## 2023年第26代(北海道第11代)高校生平和大使 帰国報告

高校生平和大使が4年ぶりにスイス・ジュネーブの国連欧州本部などを訪問し、全国から集まった署名を届けたほか、スピーチや街頭署名活動などを通して、核兵器廃絶と

世界平和の実現を訴えた。北海道からは、旭川藤星高校3年の福本響さんと市立札幌開成中等高等学校1年の上坂芽生さんの2名が派遣され、このほど帰国報告を行った。



福本 響さん  
(旭川藤星高校3年生)

8月19日から26日まで、スイス派遣に行ってきました。スイス派遣では、国連欧州本部訪問などを通して世界へ核兵器の廃絶と平和の実現のために直接、心からの訴えを伝えてきました。様々な行動を通して各国の大使の方々から私たちの活動の高い評価や温かい言葉を数多くいただき、今後の活動でさらに力を入れていこうと改めて決意をすることができました。

私がこのスイス派遣で、最も驚愕したことは大使の方に日本にいる被爆者についての質問をしたところ、被爆者の存在は被爆地である広島・長崎にしかないと思われていたことです。そこで北海道にいる被爆者について説明したところ、話にとっても興味をもってくださり、日本にいる被爆者の方々について知ることができてよかったとおっしゃっていただけました。

この派遣期間を通して、高校生平和大使の活動の重要性と平和の実現のための責任を改めて感じました。北海道では「継承」を今後の活動の軸とし、日常の様々なことが平和構築のために鎖のように繋がっているということを感じてもらえるように多様な視点から平和へのアプローチができる活動をしていきます。

今後も活動へのご理解とご協力をよろしくお願いたします。



上坂 芽生さん  
(市立札幌開成中等高等学校1年生)

私は今回のスイス・オランダ派遣を通して私自身の知識の少なさを感じた一方、私たちの活動は無力ではないと感じました。日本政府代表部表敬訪問で核兵器禁止条約(TPNW)のオブザーバー参加について質問をした際、核兵器の知識が乏しく有意義な質問ができませんでした。もし、知識が少しでも多くあったら、事前により深く学んでいたら、より有意義な派遣になったのではないかと後悔しています。しかし、今回の派遣で知識の習得を今後の課題にできたからこそ、今後の活動に繋げることができると考えています。核兵器を廃絶するために、私たちに来ることは何か、核抑止論の考え方の限界をどのように伝えるかなど、山積みの核兵器の廃絶までの課題を一つ一つ学び活動に活かそうと思います。

また、今回の派遣で共通して多くの方が「広島や長崎の原爆の惨禍を少しでも多くの人に広めてほしい」と仰っていました。私たち一人ひとりが被爆の実相を伝えることの重要性と責任、活動が無力なものではないことを確信しました。今回の派遣はゴールではなく、核兵器廃絶へのスタート地点です。スイス・オランダ派遣で吸収できたことを地元北海道に広め、少しでも核兵器廃絶に貢献できるよう、一筆でも多くの署名を集め、一人でも多くの人に核兵器の威力、広島と長崎の被爆の実相を1人でも多くの方に伝えていきます。



### 11月の主な動き

- 2日(木) 18:30/TKP  
第1回女性委員会幹事会
- 9日(木) 13:30/TKPガーデンシティ  
第2回中央執行委員会
- 22日(水) 10:00/ポールスター札幌  
第2回執行委員会
- 22日(水) 13:00/ポールスター札幌  
第46回労働福祉対策特別委員会
- 22日(水) 14:30/ポールスター札幌  
第1回地協事務局長会議
- 30日(木) 13:30/浦安ブライトン  
第1回地方連合会代表者会議

### 各地協定期総会

- 網走地協  
11日(土) 13:00/北見芸術文化ホール
- 留萌地協  
11日(土) 13:30/留萌市中央公民館
- 後志地協  
18日(土) 13:30/ホテル第一会館(倶知安)
- 日高地協  
18日(土) 14:30/静内エクリプスホテル
- 檜山地協  
18日(土) 15:30/ホテルニューえさし
- 十勝地協  
25日(土) 10:00/十勝教育会館
- 空知地協  
25日(土) 13:30/岩見沢市コミュニティプラザ
- 渡島地協  
26日(日) 13:00/函館国際ホテル
- 石狩地協  
28日(火) 13:30/ポールスター札幌

### イベントカレンダー